

YA21314

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	前期	基本	管理会計論 I	結城邦博	15	2

授業の目的

本講座は、本会計大学院の管理会計領域における必修科目として位置付けられています。伝統的な管理会計の基本的な考え方について理解していただくことを目的として、設例を使って実際に計算することで、理解を深めていただきたいと考えています。学修範囲は、業績管理会計と財務諸表分析です。

授業の到達目標

各単元の基本的な概念を理解していただくことに加え、実務の現場で対応できるように設例を的確に解答できることを到達目標とします。

履修条件

履修条件はありません。

授業計画

回	授 業 内 容	日 程
1	【講義シラバス/管理会計の歴史・定義】 講座の説明を行い、管理会計の歴史や管理会計の定義について解説します。	4月3日(土) ⑤16:50-18:20
2	【原価の分類】 管理会計の分野には、様々な概念の原価があります。各単元に入る前に、原価そのものについて説明します。 内容：原価とは何か、製造原価と販管費、製品原価と期間原価、直接費と間接費、コスト・ビヘイビア、変動費と固定費	4月10日(土) ⑤16:50-18:20
3	【業績管理会計：損益分岐点分析】 損益分岐点（CVP）分析は利益計画に対して有用な手段です。数値例を使いCVP計算について解説します。 内容：CVP分析とは、CVP分析の目的、CVP図表、CVP公式、経営レバレッジ、安全余裕率	4月17日(土) ⑤16:50-18:20
4	【業績管理会計：予算】 予算は多くの企業で活用されている管理会計ツールです。 予算の体系を解説し、予算編成についても数値例を用いて説明します。 内容：企業予算とは何か、予算の役割、基本予算プロセス、基本予算編成手続	4月24日(土) ⑤16:50-18:20
5	【業績管理会計：責任会計と業績測定】 営業部門と管理部門とでは、業績の測定方法が異なってきます。この回では業績測定方法について説明します。 内容：企業の組織、責任センター、業績測定、振替価格、バランスト・スコアカード	5月8日(土) ⑤16:50-18:20
6	【財務諸表分析】 財務諸表分析の手法自体は、管理会計生成初期から存在するものです。BS/PL構造を概観して、伝統的な財務諸表分析手法について解説します。 内容：財務諸表分析とは何か、収益性分析、安全性分析、キャッシュコンバージョンサイクル、キャッシュフロー分析	5月15日(土) ⑤16:50-18:20
7	【財務諸表分析】 続き	5月22日(土) ⑤16:50-18:20
8	【財務諸表分析】 続き	5月29日(土) ⑤16:50-18:20
9	【中小企業の収益力・粉飾決算分析】 銀行の融資担当者の視点から、中小企業を対象とした財務分析において、回転期間およびキャッシュフロー分析から粉飾金額が推定できることを解説します。	6月5日(土) ⑤16:50-18:20
10	【中小企業分析のケーススタディー】 事例を使って、粉飾金額を推定する方法を実演します。	6月12日(土) ⑤16:50-18:20
11	【中間テスト】	6月19日(土) ⑤16:50-18:20

12	【IMA ケーススタディー：バランスト・スコアカード①】 米管理会計人協会（IMA）発行の「Management Accounting Case Book」から、バランスト・スコアカードのケースを取り上げて、検討します。前半は内容の理解を深めていきます。（原文は英語ですが、講義では日本語訳を使います。）	6月26日(土) ⑤16:50-18:20
13	【IMA ケーススタディー：バランスト・スコアカード②】 後半は課題に対して検討します。	7月3日(土) ⑤16:50-18:20
14	【IMA ケーススタディー：不正会計①】 米管理会計人協会（IMA）発行の「Management Accounting Case Book」から、不正会計に関するケースを取り上げて、検討します。前半は内容の理解を深めていきます。	7月10日(土) ⑤16:50-18:20
15	【IMA ケーススタディー：不正会計②】 後半は課題に対して議論します。	7月17日(土) ⑤16:50-18:20
試験	期末試験	7月24日(土) ⑤16:50-18:20

使用教科書／評価方法等

教科書	適宜、資料を配布します。
参考書	「要説 管理会計事典」（共著、清文社） 林總著『経営分析の基本』日本実業出版社
評価方法	出席を含む授業への貢献度など（40%）、中間テスト（40%）、期末テスト（20%）
その他	授業の進み具合や履修者の方の数に応じて内容を変えることがあります。